

種まき

2020
12
December

[発行]いのちのことば社 〒164-0001 東京都中野区中野2-1-5 2020年12月1日発行 通巻第670号

福音を伝える
私の一歩
いっほ

信仰の種は成長する

高野 昭

米沢興譲教会牧師 元いのちのことば社ライフセンター福島書店店長

1972年、私はカナダの大型農業を学ぶため、期待を胸にカナダに渡りました。しかし、自分が描いていた理想と現実が、あまりにも違っていたため、ひとり悩んでいました。そんな時、日系人の牧師たちが私を訪ねてくれました。先生がたが話されるキリスト教の内容はわかりませんでした。自分でも不思議なことに、「私もあの人たちのように生きたい」と思うようになったのです。

特別集會に誘われた時、「将来のため、この集會にはどうしても出たほうがいい」という思いが湧いてきて、思いきって出席しました。その晩、私は今まで神を知らないで生きてきた自己中心の罪を認め、イエス・キリストを救い主として信じました。その時、私の中に、真の光がさし込んできたのです。

2年後、大型機械の技術者として働いていた時、「Go！（行きなさい）」という主の声を聞きました。献身への招きを受けながら断り続けていた私は、神からの直接のことばを聞いて決心が与えられました。大地に種まく仕事から、永遠に残る信仰の種をまく仕事に召されたことが、はっきりわかりました。

私は仕事を辞め、学びのために神学校に行きました。卒業を間近に控えたある日、聖書を読み、将来の導きを神に祈っていると、「立ってこのヨルダン川を渡り、わたしがイスラエルの子らに与えようとしている地に行け」(ヨシュア1:2)が示されました。ヨルダン川が太平洋に、その先に日本列島がはっきり見えたのです。その日、私は日本に帰る決断をしました。

こうして7年の留学を終え帰国、文書伝道の働きに導かれ、その後、山形県の米沢興譲教会の牧師としての道が開かれました。教会では、多くの方々

との関わりと、不登校や心に弱さを覚えている人たちとの寮生活を通して、私自身が成長させていただいています。

ある夏の夜の11時頃、寮で高校生の少年が、「この部屋で花火をやる！」と叫び始めまし

た。私は神に祈った後、「わかった、一緒に花火を買いにいこう」と言いました。すると、「もういいです、十分です」と、意外なことばが返ってきました。彼は、お父さんを知らないで育ったので、私を父親に見立て、気持ちをぶつけたかったのです。それから彼は、少しずつ心を開き始め、自分の心の内を話すようになりました。彼のように多くの人たちが、教会の働きを通して、神を信じ新しく造り変えられていく姿を見たことは、大きな恵みです。

神はまた私の家族にも、信仰の種を育ててくれました。同居していた父や母も信仰に導かれ、また与えられた3人の男の子たちも、現在、伝道者として遣わされた所で、主の働きに携わらせていただいています。

47年前、カナダの地で私の心にまかれた一粒の信仰の種は、しっかりと根を張り、そして芽を出し、大きく幹が育ち、たくさんの実を結びました。

私たちには多くの計画があります。しかし、神のみこころを祈り求めていく時、神はいつも最善に私たちを導いてくださいます。今日もまた、主の御声を聞きつつ歩んでいます。



Word of Life TOPICS

恵みシャレー軽井沢が10月末で営業終了 半世紀にわたる歩みを心に刻みながら

恵みシャレー軽井沢は2020年10月末でこれまでのスタイル、規模での営業を終了いたしました。

営業終了日の10月31日には、今までの感謝と今後の導きを祈りつつ、礼拝をささげました。礼拝には軽井沢地区の教会、TEAM (The Evangelical Alliance Mission)、日本クリスチャンキャンプ協議会、軽井沢地区のキャンプ場、そして、恵みシャレーで以前働いていたスタッフなどが出席しました。その中で、この施設に関わりの深い宣教師、恵みシャレーの元スタッフから思い出が語られました。また、日本同盟基督教団軽井沢キリスト教会の茂木幸雄師からメッセージが語られ、長年この施設に関わってこられた軽井沢中央教会の中田秀雄師の祝福で、この働きに一つの区切りをつけました。今後は、土地の一部を売却し、残りの土地で、キリスト教宿泊研修施設の働きを継続したいと願っています。いつから、どのようにということ、今後、神様がどのように導いてくださるか祈りつつ求めています。

本施設は、長年諸教会の修養会・キャンプ、ミッションスクールのオリエンテーション・自然教室・修養会、恵みシャレー主催の聖書の学びやさまざまセミナー、また、クリスチャン家族やグループでの宿泊など、多岐にわたるたくさんの方々にご利用いただきました。

鹿島の森と雲場池に囲まれた広大な面積をもつ、自然豊かな恵みシャレー軽井沢は、クリスチャンの方々にとって主と共に憩う場所、また、ターニングポイントとなった場所でもありました。その働きの背後には、現地のスタッフを始め、多くの方々の助けと協力、祈りがあったことを思い、心から感謝します。

働きを終えることは残念ですが、今ま



恵みシャレー軽井沢のフロント棟

で神様の導きとビジョンが与えられ、働きが継続されてきたように、今後も神様のご計画と導きの中で新たなビジョンのもと、この場所が用いられることを信じます。

◆恵みシャレーのルーツと歴史

ここで働きを始めたアメリカ人宣教師タイガート師の最初のビジョンは中国宣教でした。しかし1949年、中国での伝道の門戸が閉ざされ、アメリカへ帰る途次、宣教師が集まっていた軽井沢を訪問。そこで日本の山間僻地にまだ福音が伝えられていないことを知り、未伝地に福音を伝える日本人伝道者を養成するため、この場所を購入して軽井沢聖書学院を設立しました。

当時の神学生たちは、家畜を飼い、畑を耕し、自給自足の生活をしながら講義を聴き、伝道に出かけていきました。訓練を受けた学生たちはタイガート学院長の宣教師としての生き方に深く感銘を受け、それぞれがビジョンを与えられました。聖書学院の働きは22年間続けられ、1971年に閉院しました。

その後も軽井沢クリスチャンセンター (KCC) の名でキャンプ場としての働きは継続されましたが、1977年、タイガート師の召天を機に、アメリカの理事会は土地と建物をTEAMに売却し、日本での活動を打ち切りました。タイガート師による軽井沢のバイブルカンファレンスのビジョンはTEAM宣教団に受け継がれ、新しくTEAMによって運営されることになり、ション、ジェンセン両宣教師がその任に当たりました。



チャペル



喫茶ウッドシェッド

その後、当施設を主の働きのためにより活用しようと新しい運営方法がとられ、1987年にいのちのこことば社に運営が委託

されることになりました。当時のリーダーだったマクビーティがディレクターとして立てられ、軽井沢クリスチャンセンターは独立したミニストリーとして継続しながら、いのちのこことば社伝道グループの一部門となりました。

施設名もこの時、「恵みシャレー軽井沢」と改められ、施設の新築や改築が行われ、通年宿泊可能なリトリートセンターとなりました。そして、2007年にTEAMはその精神(宣教師が始めた教会と事業は、適当な時期にその国の人々の手にゆだねていく)に従い、恵みシャレー軽井沢をいのちのこことば社に全面譲渡したのです。

◆寄せられた利用者の声

・小学生の頃、1度訪れました。その時見つけた大きな

四つ葉のクローバーは今でも聖書に挟んであります。

・幼い頃から何度も行きました。家族の思い出がたくさん詰まっています。幸せな時間をありがとう。

・毎夏、恵みシャレーで過ごした幼児期の思い出は今も宝物です。

・幼い時からたくさんの思い出があります。夏の賛美セミナーの時には、心癒やされました。

・恵みシャレーで最後に結婚式を挙げさせていただき感謝です。

・救いの確信をもった45年前のバイブルキャンプ、子どもたちと毎年お世話になったスキーキャンプ、夏のキャンプ…ありがとうございました。この土地がまた用いられま

すように。

・30年ほどのおつき合いです。ここでの思い出では子どもの成長の記録でもあります。

・ここで培われた信仰に感謝。この地でなされた宣教のわざがこれからも日本に世界に広まっていきますように。

今まで、恵みシャレー軽井沢を大切に思い、祈り支え、ご利用くださった皆様、本当にありがとうございました。

(いのちのこことば社宣教室 相澤直実)

始まりは、宣教師の文書伝道だった

歴史散歩① 「いのちのこことば社70年史」より

1950年春、ケネス・マクビーティにとってその後の日本での働きを決定づけるような出来事が起こった。それは、ミッションの総主事であるT. J. バックの日本訪問だった。「その香り立つ精神と主への熱い献身は、年會に集まった80人のTEAM宣教師たちに深い印象を残した」とマクビーティは記している。バックは、当時の混乱した日本で起こっていた多くの戦いと緊急事態に当たって、助けと指針を与えるために日本に来ていた。集まった宣教師のほとんどは、まだ来日して1、2年しかたっていない。彼はメッセージの中で、日本のような国にはキリスト教文書が緊急に必要であることを訴えた。

「私が17歳の時でした。コペンハーゲンの町を歩いていると、1枚のトラクトを手渡されました。見るとキリスト教のパンフレットです。私はその場で丸めて捨ててしまいました。ところがその時、トラクトをくれた人が涙を浮かべて私を見ているのに気がついたのです。この私のために涙を流してくれる人がいる。一瞬、驚

きに似た熱いものが胸に込み上げてきました。なぜあの人は私のために涙してくれ

るのだろう…。私は捨ててしまったトラクトを拾いに行きました。今の日本人が最も必要としているのは、私のこの経験ではないでしょうか(1982年発行「社史」)。

バックはさらに続けて言った。「世界一識字率の高いこの日本で、文書伝道の計画はどうなっていますか」。そして彼は自分の説教を中断し、その場で6名の文書伝道委員を指名したのである。マクビーティの名前もその中にあった。…早速、文書伝道委員会はトラクトの出版などを手掛け始める。ところがしばらくして委員長が飛驒に遣わされることになり、「臨時でもいいから、委員会の責任をもってもらえないか」とマクビーティは頼まれた。この「臨時」がやがて彼の44年にわたる日本での仕事になっていくのである。



いのちのこことば社創業期の宣教師たち

World Prayer Map

祈りの世界地図

地図上の数字は6ページの「世界からの祈りのリクエスト」に対応しています



EHCとは 「すべての家庭に、福音文書(トラクト)を通してイエス・キリストを証しする」。この使命を頂いて、「全国家庭文書伝道協会(EHC)」は60年以上にわたり、日本全国においてトラクト配布を進めてきました。その総配布数は推計で2億枚に達します。いのちのことは社の一部門として位置づけられています。国際EHC本部はアメリカにあり、世界189の国と地域でその実情に応じて働きが行われています。

いま、
 世界で
 主の民が

◆海外からの文書伝道レポートを紹介します。

EHC国際本部
 嵐を収める主への信頼と奇跡

新型コロナウイルスによる影響を大きく受けて
 —主への叫びと祈り—

日本のみなさん、こんにちは。私は、アメリカのコロラド州にある EHC 国際本部で財務担当副総裁をしているティム・ミドルブルックと申します。

今年、私たちは想像したこともない「大波」——新型コロナウイルスの世界的な流行——を体験しています。この嵐から、神様は私たちを救い出してくださっています。その体験を証しさせていただきます。



今年2月、コロナは各地で感染の広がりを見せ始めました。それに伴い、EHC をサポートしてくださっている方々も、大変な状況に置かれることになりました。私たちへの献金もほとんどなくなり、その結果、スタッフの60%を削減して、本部から世界の国々の EHC への経済的な支援もカットせざるをえませんでした。

「神様、なぜですか？ 今まで70年にもわたって支え続けてくださったこの働きを、これからどうしようとおられるのですか？」神様に、そう叫び続ける日々が続きました。心は重く、まるでどん底に落ちたかのような気持ちでした。

そのような中で、祈りを通して、神様がいつも不思議と語り続けてくださったのが、このみことばです。「イエスは起き上がって風を叱りつけ、湖に『黙れ、静まれ』と言われた。すると風はやみ、すっかり^{なご}凪になった。(マルコ4:39)。しかし私は、なかなかこのことばを信じることができませんでした。「風が凪いだ？ まさか」。そう思ってしまったのです。

3月が終わっても、状況は一向に変わりませんでした。「来月は EHC の理事会がある。そこで何を語ろう。さらに人員を整理すると伝えなければならないだろうか？ それはとてもつらい」。心の中で自問自答を繰り返す葛藤の日々が続きました。しかし、祈り続けました。

「まことに ^{みいか} 御怒りは ^{つか} 東の間 ^{おんちやう} いのちは恩寵のうちにある。夕暮れには涙が宿っても 朝明けには喜びの叫びがある」(詩篇 30:5)。そして、このみことばによって、新しい力が与えられたのです。国際本部には事務所のすぐそばに「エリコセンター」という場所があります。ここは、世界各国のために祈りを積んでいる場所です。「毎日エリコセンターの周りを回りながら祈り、それを1か月で40回やろう」という思いと情熱を、主は私に与えてくださったのです。

祈りから信頼へ

すぐに、それを実行に移すことにしました。私は急いで事務所に行って、エリコセンターの周りを回り始めました。すると、友人から電話が入りました。今していることを話すと彼は、「いや、ひと月で40回といわず、100回、回りなさい。それに、私たちの神様は足し算の神様で、引き算の神様ではないよ」と言ったのです。

早速この話を、総裁のタナー、人事担当のエリック、エリアディレクターのスコットに話しました。すると彼らは、「私たちも一緒に回るよ。毎日4人で祈りながら回るんだ。きっと神様は、何かをしてくださるよ」と言ってくれました。

そうして、センターを回りながら祈りました。「スタッフをさらにやめさせなければならないのだろうか」「神様は、私たちの祈りにどう応えてくださるのだろうか」などという思いも浮かびました。しかし同時に、10年後にこの日々を振り返る時がきたら、「本当に信仰をもって歩んだとき、神はご計画のうちに必要を満たしてくださいました。暗闇を通っても、ハレルヤ! と叫ぶ日がやってくる」と証ししたいと思ったのです。今は暗い闇の中を通っているけれど、必ず喜びの日々がやってくる—そう信じる思いが与えられたのです。

その翌日の4月3日、祈り始めてすぐのことです。EHCのパートナーの1人から連絡が入り、神様は私たちの必要に対し、奇跡を起こしてくださいました。国際総裁のイーストマン先生は、これまでで最も大きな奇跡が起きたとおっしゃいました。嵐に遭い、舟の中で震えていたけれど、そこで神様の奇跡を体験したのです。神様は嵐をなだめ、静ませ、事を起こしてくださいました。真っ暗闇の中に、真の光を見せてくださいました。そして、コロナのために奪われたものを、1つの電話ですべて取り戻してくださいました。

4月30日、4人で1か月に100回という「祈りの旅」を終えたとき、合計80kmを祈りつつ歩いたことになりました。それから数日後のことです。またパートナーから連絡が入り、神様は新たな奇跡を起こしてくださいました。さらに6月にも奇跡を起こしてください、今年の予算のすべてが、6月末時点で満たされました。8月になると、もう1つの奇跡があり、神の備えの体験を新たにさせていただきました。



およそ半年の間、暗闇の中を歩んできました。しかし主は、そんな私たち4人とイーストマン先生に、EHCの歩みの中で最も大きな経験をさせてくださいました。

まだコロナの嵐は収まっていません。全世界が影響を受け続けています。しかし今は、もう2月当初の頃とは違います。神様は嵐を収めてくださる神様であり、「引き算」の神様ではなく、「足し算」の神様だと経験しているからです。

これからも種をまき、主に育てていただき、収穫の喜びにあずかりましょう。福音をシンプルに、すばやく、教会と一致して伝え、主の宣教命令を果たしましょう。世界中で毎日10万の人が祈るなら、1年で3,600万回祈ることになります。主は、必ず不可能を可能にしてください。主に従い、主につながり、主と共にたいまつを掲げ、さらに人々をイエスのもとへ導きましょう。

(EHC 国際本部 財務担当副総裁 ティム・ミドルブルック氏から EHC 日本への証しより)



▲ミドルブルック氏。EHC 国際本部、エリコセンターの前で

会計報告 (2020年9月分)	
8月末累計収支	1,967,742 円
○収入○	
・献金 (国内)	501,610 円
・日本 EHC	78,000 円
・オイコス計画	423,610 円
・献金 (海外)	46,660 円
・会費	29,640 円
・トラクト頒布収入	270,638 円
収入合計 (A)	848,548 円
○支出○	
・印刷費	532,350 円
・頒布活動費	572,155 円
・事務局費	526,181 円
(人件費、光熱費等含)	
支出合計 (B)	1,630,686 円
収支差額 (A)-(B)	-782,138 円
9月末累計収支	1,185,604 円

目標献金額と達成状況		トラクト頒布数
目標献金額	毎月 500,000 円	2020年7月～9月
2020年7月～9月	5,468,282 円	(総頒布数累計) 39,884部

EHC (全国家庭文書伝道協会)
 〒164-0001 東京都中野区中野 2-1-5 <https://www.wlpm.or.jp/ehc/>
 Tel.03-5341-6930 Fax.03-5341-6912 E-mail ehc@wlpm.or.jp
 郵便振替 ● 00130-5-68644
 口座番号 ● ゆうちょ銀行 019店 当座 0068644
 EHC 祈りの会 ● 年会費 2,000 円

(総人口/クリスチャン比率)

2020. 世界からの祈りのリクエスト

12

December

CG (クライスト・グループ) = トラクト配布によって生まれた求道者、決心者の集まり。BCC = 聖書通信講座。トラクト反応者をフォローアップしている。A 国、B 国 = 迫害下にあるため、国名を公表できない国を表す。BFAM = "Be Fruitful and Multiply" (創世記 1: 28) の略。信仰をもったばかりの信徒を対象にした訓練講座を表す。

3(木)、4(金) 2,140万人/6.3% ルーマニアのために ——— Map②

EHC チームは、スチャヴァ、パカウ、ポトシャニの東部にある都市で、1,000 冊以上の新約聖書や福音文書を配布しました。これらの都市の多くの人々がイエスへの信仰に導かれるようにお祈りください。

5(土)、6(日) 9,100万人/27.5% ホンジュラスのために ——— Map③

EHC チームは「ポイント・オブ・インパクト」という団体と提携し、生活に困窮している人々に食糧を提供する際に、証しや福音書も配布しました。交わりをもった人々が、イエスを個人的な救い主として信じるができるようにお祈りください。

1(火)、2(水) 1,980万人/0.9% ニジェールのために ——— Map①

未曾有の洪水が発生し、首都ニアメーをはじめとして、ニジェール川流域が被害を受けています。神が人々を守り、復興が迅速に進みますように。そして、この時に多くの人々が神を知ることができますように、お祈りください。

7(月)、8(火) 1,210万人/26.2% ルワンダのために ——— Map④

経済的に困難な状況下で失業者が増え続け、多くの家族が苦しんでいます。人々が仕事に就き、家族を養うことができるようにお祈りください。そして、神の民が神の平安と備えの証人となるように祈ってください。

9(水)、10(木) 6,510万人/7.8% セントヘレナのために ——— Map⑤

EHC チームは救世軍と提携して、子どもたちへのアウトリーチ・ミニストリーを行いました。また、この働きを通して、日曜礼拝での説教の奉仕者も見つけることができました。これらの働きによって多くの人々が救いに導かれるようにお祈りください。

11(金)、12(土) 5,560万人/4.6% ミャンマーのために ——— Map⑥

開拓宣教者たちが村や町で伝道する働きを、聖霊が導いてくださいますように。彼らは伝道のための旅で、家を長期不在にするため、家族のためにもお祈りください。多くの人が彼らの働きを通して主を知ることができるようにお祈りください。

13(日)、14(月) 1,130万人/7.4% ベナンのために ——— Map⑦

ポーリンという男性とウィルフレッドという青年のためにお祈りください。EHC チームはこの 2 人に福音を伝え、交わりの時間をもっていきます。神が彼らとの会話を導き、2 人がイエスを救い主として受け入れることができるようにお祈りください。

15(火)、16(水) 1,180万人/0.6% ギニアのために ——— Map⑧

新型コロナウイルスによる封鎖が解除され始めていますが、一部地域では依然として続いています。EHC の開拓宣教者たちは、可能な範囲でアウトリーチを行っています。このような困難の中にあって、封鎖下に置かれた人々に福音を届けることができますように。

17(木)、18(金) 2,560万人/9.2% カメルーンのために ——— Map⑨

山間部に住む約 40 人のクリスチャンが、近隣の人々に伝道をしています。そこは他の地域からは行きづらい地域です。神が彼らを祝福し、導き、彼らの証しを用いて、多くの人が救い主と出会えるようにお祈りください。

19(土)、20(日) 6,860万人/0.6% タイのために ——— Map⑩

ソーシャル・ディスタンスを保つことを条件に、政府はグループで会合をもつことを許可しました。EHC では、すでに 4 つの州でアウトリーチの訓練を計画しています。この訓練を受けたクリスチャンが、隣人に福音を伝えることができるようにお祈りください。

21(月)、22(火) 120万人/1.2% キプロスのために ——— Map⑪

A さんと F さんのためにお祈りください。2 人は福音を聞きましたが、さまざまな理由から、イエスに従うことを躊躇しています。神が彼らの人生に奇跡を起こし、イエスの救いと贖いを経験しますように。

23(水)、24(木) 590万人/2.6% エリトリアのために ——— Map⑫

この国では、福音派のクリスチャンである多くの牧師や教会の指導者が、信仰のために投獄されています。中には 15 年以上も獄中にいる人もいます。この国のクリスチャンが守られるように、そしてイエスの福音によって多くの人の心が変えられるようにお祈りください。

25(金)、26(土) 340万人/4.6% モルドバのために ——— Map⑬

EHC チームは、モルドバ中央部のレジーナ、サハルナ、サハルナヌア、リシウスカの各地域で宣教しています。働き人のクリスチャンに神の守りと導きがあり、人々の心が和らげられ、イエスの良い知らせを受け取ることができるようにお祈りください。

27(日)、28(月) 4,080万人/33.8% ウガンダのために ——— Map⑭

新型コロナウイルスのパンデミックの中、この国では、政治的な関心が高まっています。この国に平和と政治的安定がもたらされること、また、人々の癒やしと安全のためにもお祈りください。すべての家庭に福音が届くように主の導きをお祈りください。

29(火)、30(水) 140万人/25.2% ジンバブエ ——— Map⑮

EHC チームは、テレビやラジオのトークショーを通じて福音を宣べ伝えています。番組を視聴して新しく信仰をもった人が、すでに信仰をもっている人と出会い、フォローアップや弟子訓練を受けられるようにお祈りください。

31(木) 12,710万人/0.5%※ 日本のために ——— Map⑯

(※プロテスタントのみ)

コロナ禍の中で不安を覚えている方にトラクトが届き、揺るがない確かなものがあると知ることができますように。日本のオイコス計画が進められますように。支援しているモンゴル EHC、ベトナム EHC の働きの必要が満たされますように。

国境の島での種まき

EHC
日本の働き

オイコス計画実施レポート④

比田勝教会牧師 上條 松雄
(長崎県対馬市)

私たちの教会のある長崎県対馬は、玄界灘に浮かぶ離島です。韓国との国境線に近く、天気がいよい日には約 50km 先にある釜山の街並みが展望できます。島の 90% は山林で、家屋の多くは海拔 1~2m に建てられています。おもな産業は漁業と林業です。離島ということもあり、偶像礼拝、迷信、土着信仰が非常に強く、神社の鳥居や道祖神がたいへん多く見られます。

そんな土地柄の対馬で、最北に位置する比田勝地区に、私たちの教会はあります。周辺集落を含めて 4 千世帯、約 1 万人が住んでいますが、この地区にはこれまでキリスト教会がなく、住人の方たちは福音を一度も聞いたことがありませんでした。そこに今年 3 月、私たちの教会は神様の恵みによって開拓教会として、立ち上がりました。当初は知り合いもおらず、ゼロからの出発でした。

取り組んだトラクト配布は、離れて点在する集落を訪ねて回るため、4 か月をも要しました。3,500 枚を配り終えたことで、初めてこの地域に広く福音を伝えることができました。配布しながら、福音について聞いてくださる方も多くいらっしゃいました。

島には漁や木材の切り出しを仕事とする方々も多く、仕事前には偶像に祈っています。作業は命がけだからです。そのため、トラクトを差し上げながら真の神様を紹介して、「ひとこと祈らせてください」とお願いすると、喜んで共に祈ってくださいます。ある日には、出漁前に船員のみなさんの前でお祈りしたら、漁から戻った船長

が、「おかげで大漁だった。またお祈りを頼むよ」と笑顔でおっしゃっていました。これからも人間関係を築きながら伝道したいとトラクト配布を通じて感じています。

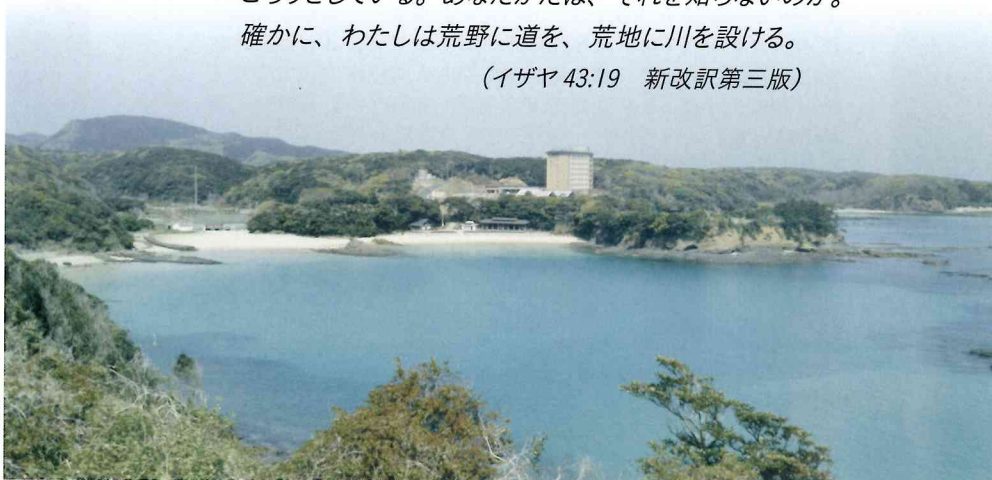
数か月前、横田滋兄が天に召されたと知って、すぐに、横田早紀江姉のトラクトを配布させていただきました。ここは韓国と北朝鮮に近く、拉致問題に非常に関心が高いため、横田姉のトラクトがよいきっかけとなり、たくさんの方とお話することができました。

トラクトを配布してから、ある男性が、ポストに入っていたトラクトを見て、教会に電話をくれました。その後、交わりをもち、時々教会へもいらっしゃるようになりました。また別の男性は、トラクトを道で拾い（誰かが捨てたと思われます）、それを見て教会に来られ、毎週礼拝に出席されるようになりました。そして今、洗礼準備の学びをしています。先日その方は、「1 枚のちらし（トラクト）が私を救った」とおっしゃっていました。種をまき、水を注ぐと、神様が成長させてくださるというみわざのすばらしさを実感しています。来年の夏には、きれいな対馬の海で洗礼式を予定しており、今から楽しみです。

今回配ったトラクトが種となり 100 倍に実ること、対馬に霊的リバイバルが必ず起こることを信じています。

見よ。わたしは新しい事をする。今、もうそれが起ころうとしている。あなたがたは、それを知らないのか。確かに、わたしは荒野に道を、荒地に川を設ける。

(イザヤ 43:19 新改訳第三版)



対馬・比田勝地区の景観 ▶

教会とEHCが協力して、福音を伝える「オイコス計画」

トラクトを“無料提供”します！ 教会周辺の地域全戸にトラクトを配布して下さる教会を募集中。この働きは多くの祈りと献金によって支えられています。

- トラクト配布のお証しを募集しています！
- オイコス計画のための献金も募集しています。ご協力をお願いいたします。

安西法律事務所

いつも喜んでいなさい。絶えず祈りなさい。すべての事について、感謝しなさい。これが、キリスト・イエスにあって神があなたがたに望んでおられることです。

1テサロニケ 5:16~18

サラン翻訳工房

韓国語⇔日本語

得意分野は信仰書です。お気軽にお問合せください。

翻訳依頼&問い合わせ lovejapan21@gmail.com



いのちのことは社の働きに ご支援ありがとうございます

感謝をもって報告させていただきます

献金者ご芳名

◆いのちのことは社のミニストリーのため

(2020年9月1日～9月30日受付分)

ご指定いただいたミニストリーに用いさせていただきます。
(愛のプリズム伝道、EHC、いのちのことは社の働き、いのちのことは社 70 周年、いのちのことは社本部ビル、ゴスペルボックス、子ども宣教室、スーパーブックプロジェクト、福音点字情報センター)

<教会・団体> 30 件

足助キリスト教会 イエス・キリスト聖成伝道教会 インマヌエル那覇キリスト教会 インマヌエル枚方キリスト教会 浦和福音自由教会 エデン福音伝道団久我山宣教会 桶川聖書教会 おゆみ野キリスト教会 鹿児島教会 亀有キリスト福音教会 北九州福音センター 清瀬グレースチャペル グレイスインターナショナルクライストチャーチ 主イエス・キリストめぐみチャーチ 湘南のぞみキリスト教会 湘南ライフタウンキリスト教会 聖書キリスト教会中野ジョイフル教会 聖和会新井教会 TLCCC 十日町教会 長井教会 西宮福音教会 日本改革派坂戸教会片岡正雄 日本キリスト改革派東京恩寵教会 久居聖書教会 平塚福音キリスト教会 福岡ハーベスト・チャーチ 藤沢キリスト教会 本郷台キリスト教会 前橋キリスト教会 横浜キリスト教会

<個人> 205 件

青柳芳明 安達加津子 井草清勝 池田知勇喜 生駒桂子 石川登喜子 石渡三池子 伊東一行 伊藤玉恵 伊藤哲子 井上利恵 井上伸之 入江昭 岩見政信 岩本守弘 植田峰子 上野温子 植松光一・有美 内田浩美 榎本公雄 オオイムツオ 大恵わたる 大西弘子 大橋康子 大浜弘子 大山豊 岡田五百子 岡戸恵子 岡村孝志 小川紀一郎 小野淳子 葛西憲子 梶山耕平 片山真一 加藤信子 河東田俊明 角田いく子 金井塚富恵 神室栄子 唐沢弘 狩俣節子 川北かおり 川澄紀子 川田久子 河野弘子 川畑玉江 神田直子 神原千鶴子 北尾隆昭 北島柳子 北村光吉 木村俊彦 木村浩之 金野彌一 九嶋優子 窪寺俊之 栗本加世味 黒澤淳 黒滝早苗 児玉治 小塚英一 小林ひとみ 小松満 伊久美麗子 紺野ヤス子 斎藤賢一 齋藤千鶴子 佐伯尚子 酒井雅子 坂野三恵子 坂本博 佐藤毅 塩貝公男 紫園香 品田八重子 渋谷和之 島紀子 清水勇次 下里貴美子 下山高生 白川賢治 新川和枝 菅原安子 杉田洋子 杉山準規 鈴木一宏 鈴木真知子 鈴木陽子 須藤昇 砂川昇一 関貫造・偉子 関寿美子 関根佳代子 関根信子 曾田幸吉 高橋桂子 田上守 多田均 田中晶矩 田中悦子 田中加代子 田中敏子 田中はる 田中雅子 田中道子 谷部栄子 知花言 植賀義典 鶴木悠紀子 寺岡秀佑 十河聖子 徳江宏恵 徳矢まり江 歳川澄子 豊島杏 中島教子 中島識子 中田勝康 長田満 中村澄江 中村秀孝 中本政信 長屋郁子 永吉伊知子 新倉和 西原順子 西村武男 西村ゆか 花形永愛 花崗豊 浜武靖子 原明子 原田和夫 張田和子 平賀真佐子 平川登美子 平手至 廣岡征子 藤田誠 藤野ゆり子 藤原いずみ 二見ふみ子 船山勝久 古川修 朴香美 本多英夫 前原栄 政本康子 町田恵 松島道子 松田茂子 萬福政三 三品忠之 見田村裕治 南清美 宮城長枝 宮城よし子 三宅聖子 宮島祥男 宮永和法 武藤晏子 宗像加代 森克己 山口三治 山崎伸子 山瀬博士 山本利恵子 横関敏子 横林千代子 横山義孝・静子 吉朝つぎえ 吉澤昭男 吉田尚穂 吉村義信 劉芽久美 和多芳子 渡邊明子 渡辺幸子 渡辺ヒサ子 匿名 (26 件)

<敬称略・五十音順>

いのちのことは社直営店 オアシス名古屋店 11月2日にオープン!

2012年、いのちのことは社とクリスチャン文書伝道団 (CLC) との間に宣教提携協約が結ばれました。その際、それぞれ同じ都市 (名古屋・札幌) にあったお店を統合し、名古屋はCLCが担当、札幌はいのちのことは社が担当し、これまで文書伝道の拠点としての役割をそれぞれが担ってきました。

この度、CLCの解散により名古屋の文書伝道の拠点をそのままいのちのことは社に引き継がせていただき、この11月2日より「オアシス名古屋店」として開店しました。

開店に先立ち、コロナ禍の中ということもあり、職員のみで礼拝を実施。第二テモテ4章1～8節より、福音宣教の使命に生きることの大切さについて、改めて確認しました。

■オアシス名古屋書店

名古屋市中区金山2-1-3 金山クリスチャンセンター 2階
営業時間：11:00-18:00 日曜、木曜、祝日は定休
Tel:03-6855-8811



オアシス新宿西口店は、まもなく移転 12月25日まで営業し、その後お茶の水へ

→2021年1月5日より「オアシスお茶の水店」開店
東京都千代田区神田駿河台2-1 OCCビル2階
Tel:03-6855-8811

※「CLCブックスお茶の水書店」は11月末日で閉店します。
(Tel: 03-3294-0775)

→2021年1月5日～1月末日に「大・古書セール」を旧オアシス新宿西口店の店舗 (東京都新宿区西新宿1-3-15 栃木ビル6階) で実施します。

[発行]いのちのことは社 〒164-0001 東京都中野区中野2-1-5 [発行人]岩本信一
Tel.03-5341-6911(代) Fax.03-5341-6912 E-mail.mpartner@wlpm.or.jp
郵便振替 00170-8-10387 名義いのちのことは社宣教団
※備考欄にそれぞれの支援先名をお書きくださると幸いです。

最新情報はいのちのことは社のHPにも掲載されています。

<https://www.wlpm.or.jp/>